

がん検診のススメ

～がんをまだ「他人事」だと思っているあなたへ～

がんはあらゆる病気の中で最も死亡率の高い病気で、長年にわたり日本人の死因第1位であり続けています。がんの恐ろしいところは、初期段階ではほとんど自覚症状が無く、見つかった時にはかなり進行していたという場合も少なくない点にあります。「自分はがんとは無縁だから大丈夫」と思いこんでいる陰で、病気はひそかに進行しているかもしれません。

がんは誰もがかかる可能性のある身近な病気です。あなたは「他人事」だと思って見過ごしていませんか？



身内でがんにかかった人は
いないし、自分は大丈夫でしょ

遺伝性のがんは、全体の5%に過ぎません！

そもそも健康な人の体の中でも毎日多数のがん細胞ができています。しかし、体を守る免疫細胞ががん細胞を退治するため、通常はがんが発症することはありません。たまたま免疫細胞が取りこぼしたがん細胞が、10～15年という長い時間をかけて目に見えるがんになっていくのです。

がんは遺伝ではなく生活習慣病の影響が大きい病気です。たばこやお酒、食事バランスや運動など生活習慣の改善を心掛けることで、がんになる危険性は減少します。しかし、残念ながらゼロにはなりません。

そこで重要なのが、がんを早期に見つけるための「がん検診」です。

がんは誰もがかかる可能性のある身近な病気です。

生涯でがんにかかる割合は、男性が53.6%、女性が43.0%。いずれも2人に1人がかかる計算です。

生涯でがんになる確率

(平成23年のデータ)

男性 2人に1人
女性 2人に1人

がんで亡くなる確率

(平成24年のデータ)

男性 4人に1人
女性 6人に1人

国立がんセンター最新がん統計より

しかし！

こんなに身近な病気にも関わらず、がん検診の受診率は高くありません！

平成24度の福津市でのがん検診の受診率

胃がん	肺がん	大腸がん	乳がん	子宮頸がん
13.8%	14.4%	17.6%	25.7%	22.4%

平成24年度地域保健・健康増進報告より

毎日仕事が忙しいし、
今、受診しなくてもいいでしょ？



早期にがんを見つけるには、毎年の検診が大切です！

(子宮頸がん・乳がん・前立腺がんは2年に1回)

がんは1個の細胞が分裂して増えていき、徐々に大きくなります。目に見えないほど小さな細胞が直径1cmほどの大きさになるまでには、およそ10年から15年かかります。

しかし、それが直径2cmの大きさになるまでの時間は、わずか1～2年です。直径2cmまでのがんを「早期がん」と呼びますが、直径1cm未満の大きさのがんは検診でも発見するのが難しいため、1～2年に1度は検診を受けないと、がんを早期に見つけれないということになります。

近年では医療の進歩などによって、がんを初期段階で発見して適切に治療することができれば、高い確率で治癒するようになりました。そのため、検診を受けて少しでも早くがんを発見することが重要です。

早期がんを発見できる期間



「生活習慣の改善」＋「がん検診」

この「二段構え」で、がんによって命を落とす危険性を自ら減らすことができます。

あなたががんになって悲しむ家族や友人や同僚がいます。あなた一人だけの命ではないはずです。

まず、がん検診を受けること、それが

がんで命を落とさないための特效薬です。



【がん検診・特定健診の予約、問い合わせ】

市いきいき健康課(ふくとぴあ) ☎0940・34・3351